令和８(2026)年度 病害虫発生予報 第８号

令和８（2026）年 11 月 24 日
栃木県農業総合研究センター
環境技術指導部

予想期間：11 月下旬～12 月下旬 予報の根拠で、（＋）は増加要因、（－）は減少要因を表す。

１ いちご うどんこ病

(1) 発生予想 発生量：多い

(2) 根拠

・現在の発生量は多い（＋）
・向こう１か月の気温は高く（＋）、降水量はほぼ平年並（±）、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み

(3) 対策

・適正な温度管理やかん水管理を徹底し、発病を防ぐ。
・予防を主体とし、葉裏にもよくかかるように RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
・紫外線（UV-B）照射は、本病の発生抑制に効果的である。
・曇雨天時にはくん煙剤の使用が有効だが、硫黄くん煙剤は天敵に悪影響を及ぼす可能性があるため、天敵導入ほ場では長時間のくん煙処理は避ける。

(4) 備考

・植物防疫ニュース No. ８を当センターホームページ（HP）に掲載中

２ いちご アブラムシ類

(1) 発生予想 発生量：多い

(2) 根拠

・現在の発生量はやや多い（＋）
・向こう１か月の気温は高い（＋）見込み

(3) 対策

・ほ場をよく観察し、アブラムシ類の発生を確認したら早急に防除する。マルチ上の甘露や白い脱皮殻は発生の目安となる。
・茎葉が繁茂すると薬剤がかかりにくく、防除に失敗しやすくなるので、葉かき後に薬剤を散布する。
・発生を確認したらウララＤＦ(I:29)等を葉裏にもよくかかるように散布する。コレマンアブラバチ等の天敵製剤を使用する際は、アブラムシ類の密度が高いと抑制までに時間がかかるため、低密度のうちに導入する。また、導入後はこまめにアブラムシ類の発生か所を観察し、マミーができていることを確認する。

(4) 備考

・ワタアブラムシ(いちご)の薬剤感受性検定結果を当センターホームページ（HP）に掲載中

３ いちご ハダニ類

(1) 発生予想 発生量：多い

(2) 根拠

・現在の発生量は多い（＋）
・向こう１か月の気温は高い（＋）見込み

(3) 対策

・ほ場をこまめに観察し、早期発見早期防除に努める。
・ハダニ類は葉裏に寄生するため、薬剤散布時は薬液が葉裏に付着するように散布する。なお、化学農薬に対する感受性低下が起こりやすいため、必ずローテーション散布を行うとともに、抵抗性が発達しにくい気門封鎖剤や天敵製剤を活用する。

・天敵導入時にハダニ類が多いと失敗しやすいので、天敵導入前に気門封鎖剤や天敵に影響の小さい薬剤を散布し、ハダニ類の密度を下げておく。

(4)　備考

・ナミハダニ(いちご)の薬剤感受性検定結果を当センターホームページ（HP）に掲載中

4　いちご　アザミウマ類

(1)　発生予想　発生量：平年並

(2)　根拠

・現在の発生量はやや少ない。

・青色粘着板による誘殺数はやや少（－）

・向こう１か月の気温は高く（＋）、降水量はほぼ平年並（±）の見込み

(3)　対策

・施設内外の除草を徹底する。

・花を注意深く観察し、発生を認めた場合はマッチ乳剤（I:15）を散布する。観察した花の１割以上にアザミウマ類が見られた場合には、スピノエース顆粒水和剤（I:5)等を散布する。

(4)　備考

・防除のポイントNo.19、栃木県のいちごに発生したヒラズハナアザミウマに対する主要薬剤の殺虫効果、いちごときくに発生したアザミウマ類の薬剤感受性検定、続報を当センターHP に掲載中

5　トマト　すすかび病

(1)　発生予想　発生量：多い

(2)　根拠

・現在の発生量はやや多い（＋）

・向こう１か月の気温は高く（＋）、降水量はほぼ平年並（±）、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み

(3)　対策

・施設内が多湿にならないように換気やかん水に注意する。また、循環扇や暖房機等を用いた通風により、結露防止に努める。

・発病葉は伝染源となるため、発生初期に速やかに取り除き、施設外で処分する。

・予防を主体に、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。

(4)　備考

・すすかび病薬剤感受性検定結果を当センターHP に掲載中

6　果菜類 コナジラミ類（トマト：黄化葉巻病（TYLCV)、黄化病（ToCV)・きゅうり：退緑黄化病（CCYV)

(1)　発生予想　発生量：やや多い

(2)　根拠

・現在のトマトのコナジラミ類の発生量は平年並（±）

・現在のきゅうりのコナジラミ類の発生量は平年並（±）

・向こう１か月の気温は高く（＋）、降水量はほぼ平年並（±）の見込み

(3)　対策

・施設内外の除草を徹底する。

・ウイルスを媒介するコナジラミ類の侵入を防ぐため、ハウスの開口部（出入り口、側窓、天窓）に 0.4mm 目合以下の防虫ネットを展張し、特に出入り口は二重にする。

・黄色粘着板の設置により、コナジラミ類の早期発見に努める。

・黄化葉巻病の耐病性品種であっても、感受性品種と同様に、コナジラミ類を適切に防除する。

・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。

・ウイルス病の発病株は見つけ次第抜き取り、土中に埋設するか、ポリ袋などで密封し枯死

させてから処分する。

(4) 備考

・病害虫防除対策のポイントNo.22、タバココナジラミ類薬剤感受性検定結果を当センターHPに掲載中

7 にら 白斑葉枯病

(1) 発生予想 発生量：平年並

(2) 根拠

・現在の発生量は平年並（±）

・向こう１か月の気温は高く（－）、降水量はほぼ平年並（±）、日照時間はほぼ平年並（±）の見込み

(3) 対策

・施設内が多湿になると発病しやすいため、日中の気温が高い時間帯に換気を行い、湿度を下げる。

・捨て刈りした葉は伝染源となるため、施設外に持ち出し、適切に処分する。

・予防を主体とし、発病前からセイビアーフロアブル20（F:12）等を散布する。

8 その他の病害虫

作物名	病害虫名	現況	発生予想	作物名	病害虫名	現況	発生予想
いちご	灰色かび病	少	少	きゅうり	アザミウマ類	多	多
トマト	灰色かび病	少	少	にら	アザミウマ類	少	やや少
	うどんこ病	多	多	きく	アザミウマ類	少	やや少
きゅうり	べと病	やや多	平年並		ハダニ類	やや少	平年並
	うどんこ病	やや多	多				

○ 今後の病害虫対策

(1) 再生稲（ひこばえ）の耕起

・再生稲（ひこばえ）は、縞葉枯病（媒介昆虫：ヒメトビウンカ）、黄萎病（媒介昆虫：ツマグロヨコバイ）の媒介虫の増殖源及び病原の獲得源になる他、斑点米の原因となるイネカメムシの一時的な生息場所となるため、早めに丁寧な耕起を行いましょう。また、耕耘によりスクミリンゴガイを物理的に破砕する効果も期待できます。

(2) 果樹類

・整枝・せん定作業では、罹病枝の除去や被害部の削り取りを徹底しましょう。処理後の切り口にはゆ合剤を塗布し、病原菌の侵入を防ぐことが重要です。また、落葉は多くの病害の伝染源となるため、放置せず適切に処分しましょう。

○ 農薬の安全使用等

11月～翌年１月は「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です

～栃木県からのお知らせです～

11月～翌１月は、「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。



・安全作業の第一歩！ 農薬散布時の身支度は万全に！

・いつものチェック！ 農薬使用の際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！

・農薬散布のその前に！ 風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう！

・周辺への配慮！ 住宅地等でやむを得ず農薬を使用する際は十分に配慮しましょう！

(1) 薬剤抵抗性発達の抑制

・薬剤で防除する際には、RAC コードの異なる薬剤をローテーション散布しましょう。

(2)　**有用生物への影響に留意**

・花粉媒介昆虫（ミツバチ、マルハナバチ）や天敵に対する影響日数に注意して薬剤を選択しましょう。

(3)　**農薬適正使用の徹底**

・農薬は適正に保管・管理しましょう。
・農薬を使用する際は、容器のラベルに記載された内容を遵守し、農薬による事故等の発生を防ぎましょう。
・薬剤散布の後には必ず作業内容を記録し、防除履歴を作成しましょう。
・農薬の総使用回数は有効成分ごとに定められています。ラベルを十分確認し、有効成分ごとの総使用回数を超えないよう適正に使用しましょう。

○　１か月気象予報（予報期間：11 月 21 日～12 月 20 日　11 月 19 日　気象庁　発表）

・暖かい空気に覆われやすいため、向こう１か月の気温は高いでしょう。
・期間のはじめを中心に、低気圧や前線の影響を受けやすいため、向こう１か月の日照時間は平年並か少ないでしょう。

向こう１か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）

項　　目	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気　　温	１０	４０	**５０**
降 水 量	３０	**４０**	３０
日照時間	３０	３０	**４０**

○　お問い合わせ等

・詳細は農業総合研究センター環境技術指導部防除課（℡ 028-665-1244）までお問合せください。
・病害虫情報発表のお知らせは、X「栃木県農政部(@tochigi_nousei)」、農業総合研究センターHP（https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/index.html）でも御確認いただけます。
・カメムシ防除作戦 HP（https://www.pref.tochigi.lg.jp/g05/kamemushi.html）も御確認ください。

X「栃木県農政部」　　農業総合研究 HP　　カメムシ防除作戦 HP